

長い冬が終わり、花の季節から初夏へと季節は変わっています。でも美山町の最低気温は未だに5℃を下回ることがあり、植えたばかりの夏野菜の苗が寒がっています。

この時期は、幾種類もの冬ごし野菜の菜花（ブロッコリー、レッドロシアンケール、ハクサイ、コウサイタイなど）が、我が家の食卓に入れ替わり立ち代わり並びます。昨年からの冬野菜は、この時期トウ立ちしてきます。美しい白紫色の花をつけた大根は、ひきぬくとすでにスが入っていますが、厚く皮むきしてスの部分を取り除き、サラダにしたり、干しえび、スキ昆布と共に炊くと美味しいのです。サラダ（生食）用に植えていたワサビナもトウがたち、背丈がのびて固くなりました。それを茹でておしたしや和え物にしたらとっても美味！（写真①）トウ立ち野菜料理 - ワサビナの胡麻和え、大根サラダ、大根の煮物）また庭でとれた山野草を友人達とテンプラにするのもこの季節の楽しみです。



写真①

この春は忙しくまた楽しい日々を過ごしました。かつて私が翻訳出版した「子ども達が作った食べ物の森」の著者、キャロリン・ナートルさんがオーストラリアより友人2人と来日されたのです。そして4月には、吹田市の「モモの家」でお話し会が開催され「食べ物の森」に関するお話を、直接うかがうことができました。以下はそのお話し会の様子です。

<http://jemamum.blogspot.jp/2014/04/osaka-carols-talk-on-establishing.html>



写真②

その後キャロリン達は広島、長崎を訪れ、京都市内に滞在したあとで、美山町の我が家に3泊しました。美山町では地元の小学校を訪問したり、地元の人々との交流を楽しみました。（写真②左から3人目がキャロリン）それから私は、このオーストラリアからの女性たちと一緒に、与謝野町、伊根町、竹野や出石への短い旅を楽しみました。

さて多くの方々にご心配をかけていたアースガーデン東隣接地の酒造工場建設とアクセス道路の件でのお知らせです。北側の板塀に加えて、この3月に東側にも板塀が作られました。美しくなった田園風景や栗林は失われましたが、新たにできた道路よりの車両の通行は、板塀のお蔭で視覚的には遮断されました。板塀が作られていない南側は、植樹がされました。その植樹は当初スケスケ状態でしたが、本日再び植木屋さんにより、追加の植樹がなされました。まだ若木なので、これから葉を多く茂らせて青々として成木に育ち、酒造工場敷地内と我が家との間を遮ってくれることを願っています。

振り返ってみれば、この酒造工場建設とそのアクセス道路建設計画がアースガーデンに隣接する栗林やその東側の農地を転用して建設されることを知ったのは2010年。2011年秋からは酒造会社、その他の関係者に対して、環境／景観保全に関する要望書をずっと出し続けてきました。南丹市役所にも何度か出向き、景観計画策定委員会にも傍聴にでかけたし、美山町内外の多くの方よりご意見や助言をいただくこともできました。これまでに酒造会社、その他に提出した要望書（時としては抗議文のようだったり…）や、その他の関連文書、記録写真などはファイル6冊にもなり、その他の多くの関連資料と共に保存されています。希望される方はそれらを閲覧いただけます。

アースガーデンが直面した隣地田園地帯でのこの計画は、私たちだけでなく都会から田舎に移り住んだ他の人たちにも、他人事とは思えないショッキングなことのようにでした。高齢化や過疎化で田畑の維持管理が困難になっている現在、自然の中で静かに暮らしたくて田舎暮らしにふみきった人の誰もが、このような開発計画に直面する可能性があるのです。

アースガーデンの環境／景観を守るために、私はせいっぱいのことをしたつもりです。その結果どうなったか、ご関心のある方は現地に来て頂き、直接ご覧いただくのが一番よさそうです。

アースガーデンおひさま発電所 発電データ（5kW規模）			
	2014年		
	2月	3月	4月
発電量(kWh)	346	281	363